

第3期山梨県医療費適正化計画の概要

1 基本的事項

○ 基本理念

高齢化の進展する中、安全・安心の基盤である国民皆保険を堅持するため

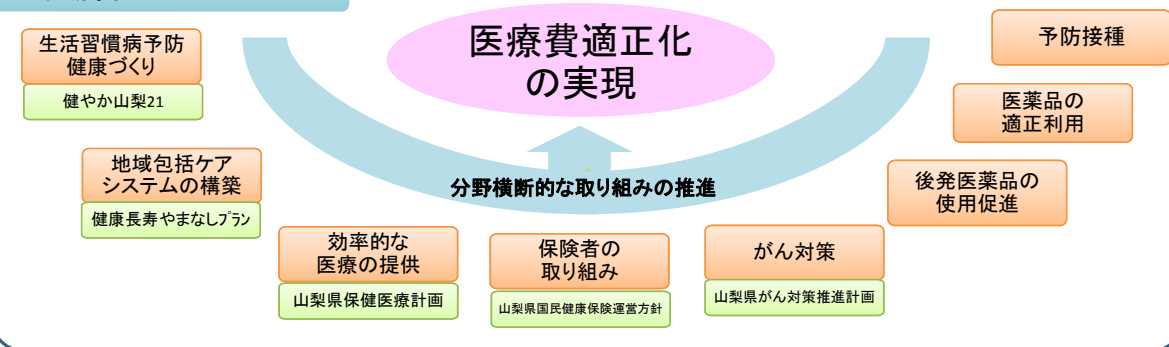
- ① 県民の健康の保持・増進による健康寿命の延伸
- ② 県民にとって必要な医療の効率的な提供により、医療費の適正化を図る。

➡ 新たに県が国民健康保険の財政運営の責任主体となることを踏まえ、より一層の、医療費の適正化に取り組む

○ 基本的な事項

- ・ 根拠法令 高齢者の医療の確保に関する法律
- ・ 計画期間 平成30年度から平成35年度までの6年間

2 医療費適正化のイメージ



3 計画のポイント

区分	医療費適正化の取組事項	現状と課題	H35までの目標	施策
県民の健康の保持・増進 NEW	特定健康診査	○受診率 全国50.1% < 山梨55.6% → 受診率の向上	受診率 <u>70%以上</u>	○健診の必要性など、保険者協議会等と連携した生活習慣病の予防に関する普及啓発 ○健診に携わる人材の質の向上 ○市町村のデータヘルス計画に基づく保健事業への支援
	特定保健指導	○実施率 全国17.5% < 山梨22.4% → 実施率の向上	実施率 <u>45%以上</u>	
	生活習慣病 メタリックシンドローム 該当者及び予備群	○減少率 全国3.2% > 山梨1.8% → メタボ該当者及び予備群の減少	減少率 <u>25%以上</u> (対H20年度比)	
	がん 糖尿病 脳卒中 心血管疾患 など NEW	H16 H21 H26 ○喫煙率 山梨25.1% → 21.2% → 19.6% → 喫煙者の減少	喫煙率の減少	
	生活習慣病 重症化予防	○糖尿病性腎症による新規透析患者数(人口10万対) 全国12.6人 < 山梨 17.6人 → 糖尿病性腎症による新規透析患者の減少	糖尿病性腎症に対する人工透析実施件数の減少	
NEW	予防接種	○麻しん・風しんの接種率 1期 全国97.2% ≒ 山梨95%以上 2期 全国93.1% ≒ 山梨95%以上 → 接種率の維持	麻しん・風しんの定期予防接種実施率 <u>95%以上</u>	○予防接種に関する正しい知識の普及啓発 ○市町村への最新動向等の情報提供等の支援
NEW	がん検診	○がん検診受診率 胃がん 全国40.9% < 山梨50.1% 大腸がん 全国41.4% < 山梨51.3% 肺がん 全国46.2% < 山梨58.7% 乳がん 全国44.9% < 山梨57.2% 子宮頸がん 全国42.4% < 山梨47.9% → 受診率の向上	各がん検診受診率 <u>60%以上</u> 各精密検査受診率 <u>90%以上</u>	○がん検診、精密検査に関する正しい知識の普及啓発
効率的な医療の提供 NEW	後発医薬品(ジェネリック医薬品)の使用	○使用割合 全国66.8% > 山梨59.6% → 使用割合の向上	NEW 使用割合 <u>80%以上</u>	○使用促進に向けた医療従事者に対する研修会の開催 ○積極的に取り組む病院の採用医薬品を取りまとめた汎用リストの作成 ○市町村や保険者協議会と連携した普及啓発
	医薬品の適正利用 (多剤、重複服用及び残薬発生の防止)	○医薬分業率 全国71.7% < 山梨75.3% → 医薬分業率の向上	かかりつけ薬剤師・薬局の定着	○かかりつけ薬剤師・薬局に関する普及啓発 ○地域医療に貢献できるスキルの高い薬剤師の養成
	地域包括ケアシステムの構築 医療機能の分化連携	○切れ目のない医療と介護サービスの提供 → 高齢化による医療と介護の需要の増加 ○高齢化に対応した医療提供体制の整備 → 将来不足が見込まれる回復期病床の確保	地域医療構想の推進	○医療と介護の連携による在宅医療の充実 ○県医師会と連携したかかりつけ医に関する普及啓発 ○地域医療介護総合確保基金事業の促進

4 医療費の見込み

